

C型肝炎ウイルス



C型肝炎はC型肝炎ウイルス（HCVウイルス）が主に血液を介して肝臓に感染することで症状を自覚する事なく持続感染し（HCVキャリア）、やがてC型肝炎となり治療しないまま放置すると長い年月をかけて肝硬変、肝がんへと進む進行性の病気です。

最近では、HCVウイルスが肝臓の中で増える為に必要な酵素を直接攻撃して抗ウイルス作用をあらわす薬（直接作用型抗ウイルス薬）を使う、飲み薬だけの新しい治療法もあります。高年齢の患者様、肝硬変などがあつて従来の治療を受ける事が難しかった患者様にも適応出来るケースがあります。治療薬の選択は専門の医師によく相談する事が大切です。

また、二十歳以上の方で、まだ肝炎ウイルス検査を受けていない人は兵庫県が実施している検査を無料で受けられます。検査を受けて感染を早期発見出来れば、適切な治療により肝硬変、肝がんへの進展を抑制する事が出来ます。まずは、かかりつけの医師に相談してみてください。

（看護師
大島 とき子）

新人スタッフ紹介

新人スタッフをご紹介します。

Q、お名前を教えてください。

A、山田佳子（ヤマダヨシコ）です。

Q、この仕事を選んだ理由は？

A、高齢者施設で働いていた時に学んだことを生かし、さらに福

社のことを勉強していったらと思い、この仕事を選びました。

Q、趣味は何ですか？

A、舞台観劇です。その中でも宝塚が好きで、きらびやかな夢の世界を楽しんでいます。

Q、今後してみたい事は？

A、年々、体重が気になりだし肩こりもあるので、ヨガやストレッチなど始めたいです。

Q、今後の目標をお願いします。

A、ご利用者様が望まれる生活を送り、ご自宅で安心して過ごしていただくためのお手伝いができればと思っています。まだまだ

だ勉強不足ですが、一つ一つ仕事を覚えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

（介護支援専門員
山田 佳子）

女性の健康づくり

女性の平均寿命が86.4歳であるのに対し、健康で自立した生活を送ることの出来る健康寿命は73.6歳で、その間に13年の開きがある。ウエルエイジング＝生き生き老後（上手に老いる）が大切とされています。

中年以降の女性患者さんに多くみられるが、医師に言えずにいるため治療できない疾患として①骨粗鬆症②過活動膀胱があります。当院では平成27年9月より40歳以上の女性患者様に対し、我々スタッフも女性、『女性のミカタ』プロジェクトの「なでしこプログラム」という骨粗鬆症、過活動膀胱のアンケート調査を致しました。

● 骨粗鬆症の症状

- 以前より、2cm以上背が縮んできた
- 最近姿勢が悪くなったり、腰や背中が曲がったりしてきた
- 腰や背中に重い感じや痛みがある

● 過活動膀胱の症状

- 尿をする回数が多い
- 急に尿がしたくなり、我慢がむずかしいことがある
- 我慢ができずに尿をもらすことがある

お陰様で200名余りの調査をまとめる事が出来、症状の再確認や検査、薬の処方と少しでもお役に立てれば幸いです。医局新聞第100号記念号としてアンケート結果を報告します。

両方に該当なし：80名
骨粗鬆症：60名（骨密度検査11名、検査後投薬開始5名）
過活動膀胱：19名（残尿エコー検査19名、検査後投薬開始6名）
2大疾患両方に該当：49名

このような症状がございましたら、お気軽にご相談下さい。今後も毎年『女性のミカタ月間』を決めて女性の健康寿命延伸のために努めたいと思っております。



予約は
こちらから

電話：0799-62-5566（診療時間内）
インターネット・携帯電話：<http://www.ukr.jp/soyama/>（24時間対応）
携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます

